

ゼネラル エレクトリック(GE)

【セクター】 資本財・サービス

【市場】 NYSE

【企業概要】

米国の産業機器の最大手で、航空機エンジンをはじめ、発電機、医療画像診断機器、油田装置、水処理設備、一般工業製品などの幅広い製品とサービスを提供します。かつては金融、メディアなどを含むコングロマリットでしたが近年は産業機器分野に集中、さらに照明、鉄道車両等の事業も切り離してきました。業績不振による株式時価総額の減少を受けて18年6月にNYダウ指数の構成銘柄から外れています。

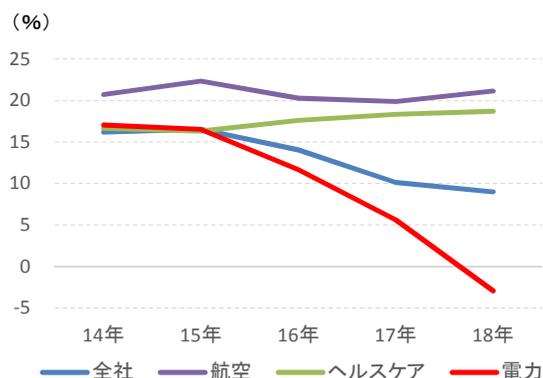
【業績】 (単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%)

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	118,243	708	0.08	0.84	6.5	1.1	20.8
18年12月期	121,616	5,664	0.65	0.37	3.6	13.0	16.8
19年12月期予想	116,304	4,950	0.60	0.04	3.4	13.6	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率 (出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 全社と主要部門の営業利益率推移



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 部門別受注・売上のオーガニック成長率 (%)

部門	19年4-6月期 (前年同期比、%)	
	受注	売上
電力	2	-5
再生可能エネルギー	38	33
航空	-9	6
ヘルスケア	3	4
オイル&ガス	11	11
産業部門計	4	7

(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

資本財大手のダナハーから転身したカルブCEOのもと事業のリストラを推進中で、喫緊の課題は電力部門の収益建て直しと不安定な財務状況の改善です。電力部門は、火力発電市場の低迷に加え、過去の受注条件が悪かったことなどが要因となっており、建て直しには複数年かかると見込まれています(図表1)。財務状況については、バイオファーマ事業を210億ドルでダナハーに売却する意向(現在、当局による承認待ち)で、これが実現すれば資金繰りはかなり楽になると見られます。

【見通し・注目点】

19年4-6月期は、オーガニックベース(M&Aなどの影響を除く)の産業部門の受注が前年同期比4%増、売上が同7%増と、部門営業利益は依然として同26%減ながら、トップラインにはやや改善の兆しが見られます(図表2)。一方、情報開示に関する株主からの訴訟に加え、過去に行っていた金融事業に係る制裁金や保険の積立金が必要となる可能性がリスク要因として残っています。これらの点を強調した「空売レポート」がマドフのポンジ・スキームを告発したことで有名なマルコポロス氏から出て株価が下落しています。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/8/28)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。